河辺林通信―――奥部北町の森から　2014年4月号　No.192

☆第2土曜日・観察会

この日は顔を見せ始めた春の植物を、名前にも注目しながら観察しました。

真っ先に春へと移り変わる水辺では、フキノトウとツクシが出ていました。

春の妖精！キクザキイチゲ開花！

ツクシは昔、「継ぐ継ぐ子」と声をかけながらツクシの継ぎ目を当てっこする遊びをしたことでツクシという名前がついたそうです。ですが、幅広い年代が集まった遊林会のメンバーの中に、昔にそういった遊びをしたという人は一人もいませんでした。

春の蘭と漢字で書き、春一番に花を咲かせるランである事からその名前がついたシュンランは、細長い葉の隙間から蕾を見せていました。このそばには、シュンランの他にも細長い葉を持つ植物がありました。こちらは、ヤブラン。これも「ラン」とつきますが、ランではなくユリの仲間です。ランに葉っぱがよく似ていることから名前に「ラン」とつきました。更にもうひとつ、同じ場所に並んでいる細長い葉は、ジャノヒゲ。こちらも葉の形から名前がついています。「ヒゲ」は、そのまま髭、「ジャ」は蛇で、蛇の髭に似た細長い葉からついた名前だと言われていますが、蛇に髭はありません。どうやら、もともとジョウノヒゲと呼ばれていたものが訛ったのだそう。その「ジョウ」とは、「尉」のこと。能で使われる老翁の面です。この老翁の髭に葉っぱが似ているからこの名前になったそうです。

他には、葉っぱは出ていましたがまだ蕾のキクザキイチゲや、うっすらと雪が積もっていた橋の上ではウサギの足跡も見ました。今回は秋に新しく入ったスタッフの初めてのつたない観察会でしたが、遊林会の皆さんの励ましや助言が飛び交う暖かい観察会となりました。

☆第2土曜日・作業内容

3月の第2土曜日こそは暖かい気候の中でおだやかに作業ができるのでは？…と、期待を胸に抱いていたのですが、先月に引き続きまたもや雪がちらつく中での作業となりました。

1. 草刈り（手刈り）

「大きな木で遊ぼう！」

野鳥観察壁前でササの手刈りをしました。この場所は夏場に草刈りをするとハチに刺される危険性が高く、奥まで立ち入ることができないので、ハチが活動を始めるシーズンまでに、森の奥の方まで草刈りをします。作業前に比べるとかなりスッキリとしました。

2. 草刈り（機械刈り）

ハリヨ池近くの森エリアの機械刈りをしました。ここにはカンアオイが咲く場所があるので、その部分は刈らないように気をつけて作業を進めました。このエリアは思っているよりも範囲が広く、3人の方に頑張っていただきました。

3. 枯れ木の伐採

枯れているスギ等の木を伐採しました。作業場所は森のエリアではなく、竹柵作りの材を取らせていただいた竹林です。危険かつ重労働の作業内容のため、男性陣に活躍していただきました。

4. 昼食作り

寒いので、あたたかい餃子スープをいただきました。この餃子は作業の休憩時間に、みんなで手作りしたものです。餃子スープの他にも、菜の花の辛子和え、春キャベツのホイル焼き、コールスロー、おから等、少しずつ近づいてきた春を感じるメニューになりました。

午後からは機械刈りの作業をもう少し進め、モリイコヤに取り付けていた屋根の解体も行いました。今日の新人さんは近くは近江八幡から1名、遠くは福井県から2名参加していただきました。雪がちらつく寒い日でしたが、たくさん参加していただき、ありがとうございました！

4月12日（第2土曜日）、23日（第4水曜日）9時～（遅刻可）

遊林会の作業会議は　4月23日（水）　お昼頃　＊時間変更しています

主　催　者　：　遊　林　会

連絡先（遊林会事務局）：滋賀県 東近江市 河辺いきものの森 Tel 0748-20-5211 Fax 0748-20-5210
URL：http://www. yurinkai. org/　　E-mail：ikimono@e-omi. ne. jp　　森のﾌﾞﾛｸﾞは「かわべぇﾌｫﾄﾛｸﾞ」で検索！

☆第4水曜日の作業と作業会議

第4水曜日も雨が降り、テントの下での作業となりました。作業は3つ。1つ目は、ファイヤーサークルのフタづくりです。1月の木ままで設計図を見ながら各パーツを作り、2月の第2土曜日で木に防腐剤を塗りました。今回は、それぞれのパーツを組み立て、立派なフタが完成しました。2つ目は、3月の上旬に降った雪で折れてしまったテントの骨なおしです。ハンマーでたたいたり、鉄の棒を使い歪みを戻したりしてもらいました。3つ目は森守堂のイスの補修を行いました。

お昼は、ちらし寿司にあさりのみそ汁、サンマの煮付け、サラダ3種（トマト・キャベツ・新タマネギ)、デザートに差し入れのデコポンと、森のはっさく？と、贅沢でヘルシーなメニュー、とっても美味しくいただきました。

今月より第4水曜日のお昼ご飯の後に作業会議を行うことにしました。今までは、第二土曜日の作業内容や遊林会や森の今後を検討する会議を有志メンバーで集まり、夜に行っていましたが、ここ数年はスタッフのみの参加になってしまいがちでした。そのため、第4水曜日のメンバーと一緒に、作業内容を話し合おう、という試みです。

具体的には、第二土曜日の作業だけでなく、翌月の作業内容や、年間を通してどのように森を保全していくかなどをスタッフが提案します。その中で、第2土曜日、第4水曜日、木まま、どのタイミングで作業するのかなどを話し合いました。また、他にも今後していった方がいい作業や、気になっていることなどを発言してもらいました。ここで出た意見を、今後の作業計画に活かしていこうと思います。

☆3月の木ままクラブ

3/13　11人

先月からの竹柵の続きです。雨降りでしたが、小さいテントを出し、カッパを着ての作業でした。雨のため午前中のみの作業となりましたが、全体の7割くらい完成しました。

3/20　13人

引き続き竹柵作りと、雪で壊れた作業小屋前の屋根の修理です。この日も雨降りだったのですが、「竹柵を完成させるために、カッパを買ってきた！」という方もいて、激しい雨の中でしたがお昼過ぎには無事竹柵が完成しました。

4月の活動は17日（木）です。

☆スタッフルーム情報

春は出会いと別れの季節、スタッフの藤居が3月で森を去ることとなりました。彼女からのコメントを掲載します。

「お世話になりました。今振り返ってみると、あっという間の一年間でした。
自然に囲まれながら仕事をしていると、自分もこの自然の一部なんだなぁと感じて、ありのままの自分で伸び伸びと過ごすことができました。
また、森での活動を通していろんな人との出会いがあり、とてもいい刺激を受けました。
河辺いきものの森はたくさんの人の手で守られている森、想いのこもった森、あたたかい森だなぁと思いました。
今後も活動日などで森へふらっと現れるかもしれませんが、そのときはどうぞ優しく受け入れてください！よろしくお願いします。
今までありがとうございました。」

明るく、笑顔が印象的で、遊林会の活動に始めて参加された方には誰よりも早く声をかけ、参加しやすい雰囲気を作ってくれていました。どんな場でもすぐに溶け込める彼女、新たな場所でも活躍してくれることと思います。1年間お疲れ様でした！

☆春休みになり、森がにぎやかです！

3月21日から、春休みのイベント、25日からクイズラリーが始まり、森は子ども達の声でにぎやかです。

春ならではのイベントで、毎年人気なのは「大きな木で遊ぼう」です。スズメバチやヘビなどの心配がいらない今は、森の中に入っていって思いっきり遊べます。森の中にある大きな木に、ロープをかけてブランコを作ったり、木と木の間に竹やロープをかけ移動したり、パチンコを作って的当てをしたり…スタッフが考えていたルールだけでなく、子ども達が遊びながら新たなルールを考えて競い合ったり、楽しんでいる姿を見られて、子どもは遊ぶのが上手だなぁと感じさせられる一日でした。

☆4月の作業は…

活動するにはもってこいの季節！草刈りや柴拾い、竹林整備などを行います。お昼はお祭りでエースが不在のため、モリモリカレーです！山菜も出始めたので、春の味も味わえるかも…？

発行者：東近江市建部北町　河辺いきものの森ネイチャーセンター内　遊林会　代表 井田三良　Tel　0748-20-5211
この用紙にはkikitoペーパーを使っており、滋賀県湖東地域の森の保全に寄与しています